

# Indonesia Weekly

2020年1月6日



(対象期間：2019/12/23～2020/1/3)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年1月3日)

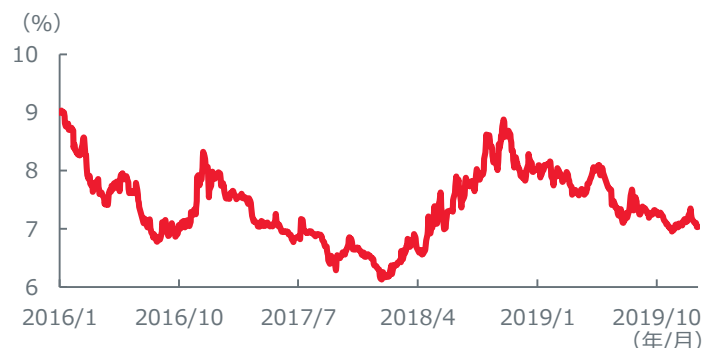


## 【株式市場】

インドネシアの株式市場は前々週比で上昇しました。年末にかけ、米中貿易交渉の「第一段階の合意」への期待を背景に米国株高などリスク環境の好転を好感し、インドネシア株式市場も堅調な展開となりました。マレーシアのパーム油生産の減少を背景にパーム油価格が上昇傾向となっていることから、特にプランテーション株は大幅に上昇しました。12月31日から1月1日にかけて首都ジャカルタで、記録的な大雨により大規模な洪水が発生したことを嫌気して、2日の株式市場は下落しました。翌3日は、外国人投資家の資金流入を背景に銀行株などが上昇し、株式市場は反発しました。

2019/12/20	2020/1/3	変化率
6,284.37	6,323.47	+0.62%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年1月3日)



## 【債券市場】

年末にかけ、米中貿易交渉の前進への期待を背景に、世界的にリスク資産が堅調となる中で、インドネシアの債券利回りは低下（価格は上昇）しました。年初の債券市場は通貨ルピアの下落や翌週の国債入札を前にしたポジション整理などを受けて、利回りはやや上昇して始まりました。しかし、2日に発表された12月の消費者物価指数が前年同月比で市場予想を下回ったことを好感し、利回りは低下に転じました。3日、米国とイランの緊張の高まりを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、利回りはやや上昇しましたが、前々週比では低下となりました。

2019/12/20	2020/1/3	変化幅
7.170	7.030	-0.140

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年1月3日)



## 【為替市場】

年末からのリスクセンチメントの回復から堅調推移となっていたルピアは、3日、米軍によるイラン革命防衛隊司令官の殺害を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり下落に転じましたが、対米ドルでは前々週末比で上昇となりました。一方、対円では、リスク回避の円高の進行により下落しました。

2019/12/20	2020/1/3	変化率
0.7825	0.7749	-0.97%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ